届け 世界の果てまでも

令和４年９月１３日　Ｎｏ．３３　文責　校長　飯久保一男

子どもに教えられる

今号はコラムの紹介から始めます。

高校３年生の息子と出かけた帰り道，ＪＲ線の電車に乗った。
夜遅い時間だったので，ほとんど乗客はいなかった。
ドアが開いて乗り込み，席に座ろうとすると，息子は少し離れた席に歩いていってしまった。
「やっぱり年ごろの男の子は母親と一緒に座るのは嫌なんだなあ。」と，ちょっと寂しい思いがした。
ところが，息子は誰もいない席に置いてあった空のジュースのペットボトルを手にして戻って来た。
それを見て思わず「やだぁ，誰が飲んだか分からないようなものを触らないでよ。」と言うと
「ゴミだよ。こんなところに置いていくかなぁ。」と答えた。
私は自分の言葉に恥ずかしくなってしまった。
息子は駅に着くとホームのゴミ箱にそのペットボトルを捨てた。
「ごめんね，嫌な言い方をして。それにしても偉いなあ。」と言うと
「別に，当たり前じゃん。」と平然の返事だった。
そういえば…，部活の合宿の帰りに学校へ迎えに行ったときのことを思い出した。
会うなり「あ，これ，ゴミが入っているから。」とスーパーのレジ袋を渡された。
自分が食べたあとのゴミかと思ったら，バスの車内に置き去りにされた菓子の空き箱やペットボトルを最後に集めて来たのだと言うので「あなたは偉い。」と褒めたことがあった。

親バカですが息子を誇りに思います。それに引き換え，まだまだ修行の足りない母親です。
このように息子に教えられることがしばしばあります。死ぬまで勉強です。

ステキな息子さんです。また，それを認め，息子さんから学んでいるお母さんの姿勢もステキだと思います。こういう息子さんに育ったのは，親の教育や家庭の環境が影響しているはずです。お母さん自身は意識していなくても，息子さんはお母さんの姿を見て育ったのかもしれません。

…令和２年度校長通信Ｎｏ．３０の一部再掲です。

「親はなくとも子は育つ」という言葉があります。「世の中のことはさほど心配したものではないというたとえ。」（大辞林）という意味ですが，言葉そのものから受ける印象は，子どもが育つのには親がいらないという親の存在感の薄いもので，何とも親にキビシイ言葉のようにも聞こえます。

幼児期には親がいないと子どもはどうすることもできませんが，少年期に入るとそうではなくなっていきます。その時期に，いつまでも親が出しゃばりすぎると，子どもの成長のジャマをしてしまいます。３年くらい前に「過保護のカホコ」というドラマが人気でしたが，そのドラマの中の親のように，いつまでも子どもへの対応を変えない親は，子どもの成長や自立にとって危険な親になります。どの子も親や家庭から大きな影響をうけて育つことは確かですから，親も成長する必要があるのです。

逆に**「育てたように育つ」**という言葉もあります。**「子は親の鏡」**という言葉もあります。我が家の息子どもを見ていても，そうだよなぁ，そういうふうに育てたんだよなぁと反省する部分が多くあります。イヤなところが，私にそっくりなのです。

学校での言動が自分勝手で指導が大変な子どもについて，保護者と話をし，対応を考えることがあります。家庭で甘やかされていて，わがままに過ごしているということが原因という子どもがいます。また，放任されていて，勝手気ままに過ごしていることが原因という場合もあります。

しかし，「家では『いい子』なんですけど…」という話を聞くこともあるのです。この子どもの場合，家庭で「いい子」でいなければならないストレスを学校で発散しているように感じてしまいます。

お互いを思いやる家庭で育つ子どもは素直に成長します。

〇家族であいさつを交わす・感謝の言葉を伝える

〇困っているときに相談にのる・大変なときに助け合う

また，自分をさらけ出せる家庭があることも大切です。例えば，

〇甘えられる　…「甘やかす」とは意味が違います。

〇ダラダラできる　…むむっ，私だけじゃないですよね？

〇言いたいことが言える　…言いたいこと，わがままを叶えてやるということではありません。言ってはいけないことを言った場合は叱る必要があります。

などです。

子どもの成長に一番大きな影響を与えるのは親です。そして家庭環境です。笑顔で過ごせ，毎朝気持ちよく家を出て，そして，家に帰ったら心が開放（解放）できる…，そうはうまくいかないことあると思いますが，そんな家庭の中でのびのびと育ってほしいと思います。

ちょっと耳の痛いことを書きましたので，子どもに教えられたという楽しい話で終わりにします。

雨の日，娘と幼稚園に行く途中「雨って嫌だよなあ？」と言ったら
「人間がお天気を嫌いになっても仕方ないでしょ。いいところを見つけるの！」
とマジ説教された。
ちなみに娘は長靴で水たまりをバシャバシャできるのが雨の好きなところだそうだ。
心を入れ替えて会社に行ってきま～す。

昔から食べこぼしを服につけさせたら日本で５本の指に入る俺だが
息子と２人で焼肉屋に行ったら見事にタレやら何やらを服につけてしまい
「あ～もう，白いシャツだから余計に目立つよね」とか
「しみ抜きすれば大丈夫だね」とか…。
息子よ。将来お父さんの嫁さんになってくれないか。

この話は，俳優の佐藤二朗さんが Twitter に投稿したコメントです。

将棋にハマりまくりの息子。
「なんとかモンスターのカードはもうやらんのか」と聞いてみたところ
「あれはお金のあるヤツが勝つ。将棋は１００％頭の勝負だからそこがおもしろい。」
なるほどと思ったけど，私は今，彼に将棋で１２連敗中。
８歳のガキンチョに頭の勝負で負け続けていることになる。